

パブコメ集計結果(文部科学省 地域イノベーション創出研究開発事業)

1. 総数: 24件

2. 賛否について:

○賛成:	21件
○賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの:	1件
○反対:	2件
計	24件

(賛否の考え方)

- ・主旨に賛成の文意を含むものは全て賛成に判定。
- ・「賛成だが施策の改善見直しの意見のあるもの」は基本的には賛成だが、施策の実施にあたっての改善、見直し方策について記述されているものを集計。

(参考)

①賛成

- ・ 本事業の積極的な推進とJST科学技術コーディネーターの機能強化による企業化までの絶え間ない支援が必要である。
- ・ 我が国の新しい分野開拓には欠かせない事業であると認識しており、増額すべきものと思っている。
- ・ 本事業は科学技術を地域の産業に結びつけるために必要な事業であり、継続を要望する。

②賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの

- ・ 一部の運営母体とその職員の問題改善のために、多数の研究者の仕事に多大な影響が出ないように十分配慮した形で制度の改善・変更を行っていただく事を強く求めます。そして、そのためには、次のいずれかの選択が適切であると考えます。1. 本制度を存続させ、運営方法を改善するとともに個別のプログラムについて必要性を議論し、プログラムごとに削減および重点化を判断する。2. 本制度に変わる新たな産業シーズ支援策を策定の上、本制度を廃止する。

③反対

- ・ 典型的な国費のばらまき政策。実施している JST も、地方も理解しているはず。科学技術の発展に対する投資としては効率の悪い政策となっている。国力に余裕のない時代に行う政策ではなく、科学技術推進政策であれば、そのポイントに焦点絞って推進すべき。地方産業経済を支えるのであれば、交付税の増額など、地方に直接交付すべき。
- ・ ある時 JST のホームページを見て驚愕しました。いつの間に文部科学省はこんな法人を太らせ、不要な事業を山盛り(仕分け人はタケノコのようにと比喻)実施するようになっていたのか。産官学連携とう妄想のもとに、日本のあちこちに事務所をつくり、大学と JST の連絡係あるいは資金調達支援者であるコーディネータと称される人員まで採用しています。文部科学省・JST・大学、それに予算が回ってくる研究者には「重要」かも知れませんが、個々の研究内容、成果、それに本来の意義を考えると全く税金の無駄使いです。